

# 2級土木実地問題 「工程管理」

会社名	氏名	FAX番号	メールアドレス

**【問題 1】** あなたが経験した土木工事の現場において、工夫した工程管理を1つ選び、次の〔設問 1〕，〔設問 2〕に答えなさい。

〔注意〕 あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

**〔設問 1〕** あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

〔注意〕 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。従って、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

## (1) 工事名

.....

## (2) 工事の内容

① 発注者名

.....

② 工事場所

.....

③ 工期

.....

④ 主な工種

.....

⑤ 施工量

.....

.....

## (3) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

.....

2級土木	氏 名
工程管理	

〔設問 2〕 上記工事で実施した「現場で工夫した工程管理」を選び、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。  
ただし、交通誘導員の配置に関する記述は除く。

- (1) 特に留意した**技術的課題**
- (2) 技術的課題を解決するために**検討した項目と検討理由及び検討内容**
- (3) 上記の結果**現場で実施した対応処置とその評価**

**(1)具体的な現場状況と特に留意した技術的課題 (7行)**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

添削者記入欄

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

2級土木	氏 名
工程管理	

(2) 技術的課題を解決するために検討した項目と検討理由及び検討内容 (9行)

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

添削者記入欄

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

2級土木	氏 名
工程管理	

**(3) 技術的課題に対して現場で実施した対応処置とその評価 (9行)**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

添削者記入欄

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

# 2級土木実地問題 「工程管理」参考記述例

会社名	氏名	FAX番号	メールアドレス

**【問題 1】** あなたが経験した土木工事の現場において、工夫した工程管理を1つ選び、次の〔設問 1〕，〔設問 2〕に答えなさい。

〔注意〕 あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

**〔設問 1〕** あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

〔注意〕 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。従って、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

**(1)工事名** 上郷川寺町地区河川災害復旧工事

**(2)工事の内容**

①**発注者名** 鹿児島県大島郡上郷町建設課

②**工事場所** 鹿児島県大島郡上郷町寺町地内

③**工期** 令和3年10月25日～令和4年3月20日

④**主な工種** 掘削工、土留工、コンクリートブロック積工

⑤**施工量** 掘削土量750<sup>3</sup>m、鋼矢板Ⅲ型打設 長さ8.0m・120枚

コンクリートブロック積 法長3.7m・延長32m

**(3)工事現場における施工管理上のあなたの立場**

工事主任

## 2級土木実地問題 「工程管理」参考記述例

以下の記述ポイントを参考に、実際に行った施工の記述文を作成して下さい。

### (1) 具体的な現場状況と特に留意した技術的課題 (7行)

本工事は、上郷川寺町地区の護岸が豪雨災害により崩壊したため、新たにコンクリートブロック(法長3.7m、延長32m)を築造する工事である。

上郷川は川幅が5mと狭く、水かさもあり、河川内でのバックホウの使用が困難であった。また、護岸背面の敷地幅が2.5mと狭く、作業スペースの確保が困難であった。これらの施工条件で作業を進めると、大幅な工程の遅れが予想された。

よって、作業効率を向上させ、工程を短縮する工程管理が課題となった。

### (2) 技術的課題を解決するために検討した項目と検討理由及び検討内容 (9行)

本工事において工程を短縮するため、以下の検討を行った。

①コンクリートブロック積みの施工では、河川を締め切り、施工箇所を水のない状態を確保しなければならないため、河川の仮締め切りの方法と、水替えの方法を検討した。

②護岸背面の作業スペースを拡大するため、現場周辺の敷地を借用して、作業できる土地の確保を検討した。

③掘削工やコンクリートブロック積工において、1日当たりの施工量を増やすため、作業員の増員、施工機械の増台、作業スペースに適した施工機械の選定を検討した。

以下の記述ポイントを参考に、実際に行った施工の記述文を作成して下さい。

### (3) 技術的課題に対して現場で実施した対応処置とその評価 (9行)

検討の結果、以下の対応処置を行った。

① 施工箇所の外周部には、鋼矢板Ⅲ型(長さ8.0m)を打設し、河川の仮締切りを行った。また、水替え用の水中ポンプ2台を設置し、河川部での作業を可能にした。

② 既設護岸に隣接する民地を借り入れ、作業スペースを確保した。

③ 掘削工では、0.45m<sup>3</sup>積バックホウを1台から2台に変更した。また、コンクリートブロック積工では、当初、1班4名の体制であったが2名を増員し、裏込材投入転圧の班と、ブロック積みの班に分け、1日当たりの施工量を2倍にした。

評価としては、施工機械の増台や作業員の増員を行い、施工量を増大したことであり、その結果、工期内に工事を完了できた。